



学校だより

南城市立馬天小学校  
令和4年7月12日

# チーム馬天

〔第5号〕

学校目標 おもいやりのある、かしこく、たくましい子 発行者:校長 嶺井 靖之

## わかる授業の為に！校内研究授業始まる！！

長い梅雨が終わり、暑くなるにつれて、コロナ感染者も減るか期待していましたが、相変わらず県内で高止まりしている状況です。本校においても、各クラスで感染者が出て来たり、学級閉鎖を行うなど、検温カード等への記入を含め、保護者の皆様には協力を賜り、有り難うございます。

そんなコロナ禍でも、学校では、子ども達に「わかる授業」「参加する授業」の推進を図っています。その軸となるのが、校内研修で、講師を招聘し、「どのようにすればわかる授業が実践できるか」「どのように児童を支援し、見取っていくか」など、研究を深めています。4月には、講師に琉球大学教授の村上呂里先生をお呼びして、国語の表現に関する研修を行いました。研修の際には、時間確保が必要になり、下校時間等が変更になる為、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしていますが、教師の授業力・指導力向上の為、必要な事なので、ご理解・ご協力をお願い致します。

7月からは、研究したことを検証する為に、各学年で研究授業・研究会を行っています。7月8日には、高学年代表授業を6年2組で行い、講師に島尻教育事務所福田指導主事を招聘し、全職員で、「手立てについて、どうだったか」を話し合い、研究内容を含めて、指導助言を頂きました。指導助言や効果的な取り組みや手立てについては、職員で共有し、授業改善を図るなど、その後の日々の授業に生かして行きます。

その他にも、県や市の教育委員会から求められている教育施策等を生かした授業を日々行っています。例えば、ICT（コンピュータ）や地域人材の活用授業、JETの先生をT2とした外国語活動なども、日々行っています。



## 6年生の成長が感じられた修学旅行!!

先月始めに6年生修学旅行を実施しました。1泊2日の短い日程でしたが、団長として活動を共にしたことで、これまでの授業参観だけではわからない6年生の良さを感じ取る事ができました。

旅行中、ずっと守っていたのが5分前行動でした。例えば美ら海水族館後に自由行動の時間があり、子供達は、グループ毎に様々な施設や場所を見学をしましたが、5分前には、自主的に集合する事ができました。

特に印象に残っているのは、子ども同士が仲が良く、楽しそうだった事です。夕べの集いの出し物も、ダンス、演劇などでかなり盛り上がり、最後は、ほぼ全員が舞台上に立ち、ダンスをするなど、一致団結し、心が一つになったと感じました。今回の修学旅行のめあて「集団行動やマナーを守り、友達との絆を深める事で、思い出に残る修学旅行にする」事が達成できたと思います。又、今回の修学旅行を通じて、6年生がさらに成長した事が大変頼もしく、嬉しく思いました。



